



ばらつきが多い接着強度をどう扱い、最低強度を求め、設計強度を考えるか？
寿命推定の具体的手法、劣化・安全率等の考慮から高信頼性接着を達成するために

接着の強度、耐久性、信頼性・品質に影響する諸因子とその最適化法および寿命推定法、設計法

想定不良率・ばらつき・劣化・内部破壊・安全率・接着部に加わる力を考慮して必要な継手強度を簡易に求める、講師のノウハウから成る接着設計法も解説

日時	2019年12月17日(火) 10:00~17:30	会場	東京・品川区大井町 きゅりあん 6F 中会議室
受講料	55,000円 → 講師紹介割引 27,500円 (通常受講料の半額) (本体25,000円+税2,500円)		資料・昼食付

講師紹介 (株)原賀接着技術コンサルタント 専務取締役 首席コンサルタント 工学博士 原賀 康介 氏
【専門】接着技術(特に構造接着技術、接着の信頼性保証技術)

趣旨 接着の耐久性を向上させるには、まず、接着界面での密着性を向上させて凝集破壊を達成させることが基本である。また、接着強度のばらつきを小さくしておくことも重要である。さらに、破断強度を設計強度として用いることはできず、設計に用いることができる設計許容強度を知ることも必要である。
本講座では、接着の強度、耐久性、信頼性・品質に影響する多くの要因を説明し、諸要因の最適化法を示す。また、長期劣化の寿命推定の具体的手法、想定不良率・ばらつき・劣化・内部破壊・安全率・接着部に加わる力を考慮して必要な継手強度を簡易に求める接着設計法について説明する。

- プログラム**
- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 高信頼性、高品質接着を達成するための基本条件と目標値 <ol style="list-style-type: none"> 開発段階で達成すべき目標値 接着のメカニズムと接着特性の向上策 接着劣化のメカニズムと評価のポイント <ol style="list-style-type: none"> 劣化の要因とメカニズム 耐久性評価の落とし穴 耐久性の相対評価試験と絶対評価試験 耐久性の定量評価における評価条件の最適化 接着耐久性の長期寿命予測法 <ol style="list-style-type: none"> 寿命予測の鉄則 長期熱劣化の予測法 長期水分劣化の予測法 長期屋外暴露劣化の予測法 クリープ耐久性の予測法 疲労耐久性の予測法 | <ol style="list-style-type: none"> ばらつき、劣化、内部破壊を考慮して接着部の必要強度を簡易に求めるための原賀式『Cv接着設計法』 <ol style="list-style-type: none"> 原賀式『Cv接着設計法』とは 許容不良率、工程能力指数、変動係数、信頼性指数、ばらつき係数の関係 高品質を満足する条件 内部破壊を考慮する 環境劣化による接着強度の低下とばらつきの増加 初期の必要平均接着強度を求める設計式 信頼性、耐久性、寿命、安全率のトラブル事例 <ol style="list-style-type: none"> ばらつきを考慮せず平均値で設計した 乾燥による強度回復性を考慮しないで接着剤を選定した クリープが加わっている状態に気がつかなかった 試験片と製品の接着部の形状・寸法の違いを考慮しなかった 疲労強度を間違った 引張り剪断試験で結果を見誤った など |
|---|--|
- 質疑応答・名刺交換 □

【受講特典】 原賀康介先生の著書「高信頼性を引き出す接着設計技術—基礎から耐久性、寿命、安全率評価まで—」を一冊お渡しします。

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 B191217 (接着信頼性因子) 講師紹介割引

会社名 団体名		
部署		
役職	〒	
ふりがな	住所	
氏名		
TEL	FAX	
E-mail	※申込みに使用する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。	

※太枠の中をご記入下さい。※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

<p>今後のご案内</p> <p><input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 希望しない</p>
<p>お支払方法</p> <p><input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 当日現金払い</p>
<p>通信欄</p>

●受講料について
特別割引用紙のため、他の割引との併用はできません。
●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
●お支払いについて
受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
●キャンセル規定
開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、
・開催7日前以前のキャンセル: キャンセル料はいただきません。
・開催3~6日前でのキャンセル: 受講料の70%
・開催当日~2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%
※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com